

支所001	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	新地域特別振興費	ページ	171
年度	R7	所 属 名 国府町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所地域振興課 0857-30-8652		
款 総務費	【11次総の施策体系】2403 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 全国的に人口減少や高齢化が進行している中、国府地域においても過疎化や地域活力の低下が顕著になっており、移住・定住者の確保によるコミュニティの維持や新たな賑わいづくりが課題となっている。 令和6年度より地域おこし協力隊の制度を活用した新たなUJIターン受入窓口となる団体を国府地域において初めて設立するなど、当地域への移住者の受け入れ体制の強化を図っている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 官民一体でUJIターン受入体制を強化することで、継続的な移住・定住を推進し、地域における新たな担い手の確保と持続的な活性化を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 民間事業者に地域おこし協力隊事業を一括して委託(2年目) 令和7年度予算 4,512千円(協力隊員1名分の人件費及び活動経費) ・国府版UJIターン支援窓口の強化 ・空き家情報の集約、集落のニーズ調査の実施 ・お試し住宅の確保、移住先としての魅力づくりや情報発信 ・まちづくりや農業など幅広い地域活動への参加		
前年度当初予算額	3,404	【事業の実績】 令和6年度 3,404千円(見込)	
本年度要求額	4,512		
総務部長段階査定額	4,512	【事業の内容】 民間事業者に地域おこし協力隊事業を一括して委託(2年目) 令和7年度予算 4,512千円(協力隊員1名分の人件費及び活動経費) ・国府版UJIターン支援窓口の強化 ・空き家情報の集約、集落のニーズ調査の実施 ・お試し住宅の確保、移住先としての魅力づくりや情報発信 ・まちづくりや農業など幅広い地域活動への参加	
市長段階査定額	4,512	【事業の実績】 令和6年度 3,404千円(見込)	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 民間事業者に地域おこし協力隊事業を一括して委託(2年目) 令和7年度予算 4,512千円(協力隊員1名分の人件費及び活動経費) ・国府版UJIターン支援窓口の強化 ・空き家情報の集約、集落のニーズ調査の実施 ・お試し住宅の確保、移住先としての魅力づくりや情報発信 ・まちづくりや農業など幅広い地域活動への参加	
財源内訳		【事業の実績】 令和6年度 3,404千円(見込)	
国・県支出金	0	【事業の内容】 民間事業者に地域おこし協力隊事業を一括して委託(2年目) 令和7年度予算 4,512千円(協力隊員1名分の人件費及び活動経費) ・国府版UJIターン支援窓口の強化 ・空き家情報の集約、集落のニーズ調査の実施 ・お試し住宅の確保、移住先としての魅力づくりや情報発信 ・まちづくりや農業など幅広い地域活動への参加	
地方債	0	【事業の実績】 令和6年度 3,404千円(見込)	
その他	0	【事業の内容】 民間事業者に地域おこし協力隊事業を一括して委託(2年目) 令和7年度予算 4,512千円(協力隊員1名分の人件費及び活動経費) ・国府版UJIターン支援窓口の強化 ・空き家情報の集約、集落のニーズ調査の実施 ・お試し住宅の確保、移住先としての魅力づくりや情報発信 ・まちづくりや農業など幅広い地域活動への参加	
一般財源	4,512	【事業の実績】 令和6年度 3,404千円(見込)	
計	4,512	【事業の内容】 民間事業者に地域おこし協力隊事業を一括して委託(2年目) 令和7年度予算 4,512千円(協力隊員1名分の人件費及び活動経費) ・国府版UJIターン支援窓口の強化 ・空き家情報の集約、集落のニーズ調査の実施 ・お試し住宅の確保、移住先としての魅力づくりや情報発信 ・まちづくりや農業など幅広い地域活動への参加	
備考欄			

支所002	項目名	万葉フェスティバル開催事業費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	281
年度	R7	所 属 名 国府町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所地域振興課 0857-30-8652		
款 教育費	【11次総の施策体系】2302		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 国府地域では、万葉集を編さんした大伴家持が万葉集最後を飾る歌を詠んだ地であることになみ「万葉のふるさと」としてまちづくりを推進している。 「大伴家持大賞短歌募集事業」は、因幡万葉歴史館開館の平成6年から始まり、短歌愛好家の間では全国的に周知されることとなった。 平成22年度からは、万葉のふるさと国府を広く発信する「万葉フェスティバルin鳥取」の主要事業として実施している。		
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 万葉集や大伴家持にちなんだ短歌募集を全国規模で行うことで、万葉のふるさと鳥取市国府町を広く情報発信し、万葉をキーワードとしたまちづくりを持続的に推進する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 共催：新日本海新聞社 時期：令和7年10月中旬の日曜日 内容：短歌募集を行い、大伴家持大賞として選考、審査し表彰式を行う。また、小中高校生を対象とした短歌講座を行い、短歌の裾野を広げる。		
前年度当初予算額	6,507	【事業の実績】 令和4年度 3,300千円 応募数4,037首(一般1,841首、児童生徒の部2,196首) 令和5年度 3,300千円 応募数3,730首(一般2,086首、児童生徒の部1,644首) 令和6年度 3,270千円 応募数3,795首(一般2,163首、児童生徒の部1,632首) 3,237千円 大伴家持大賞30周年記念事業開催	
本年度要求額	3,070		
総務部長段階査定額	3,070	【事業の内容】 共催：新日本海新聞社 時期：令和7年10月中旬の日曜日 内容：短歌募集を行い、大伴家持大賞として選考、審査し表彰式を行う。また、小中高校生を対象とした短歌講座を行い、短歌の裾野を広げる。	
市長段階査定額	3,070	【事業の実績】 令和4年度 3,300千円 応募数4,037首(一般1,841首、児童生徒の部2,196首) 令和5年度 3,300千円 応募数3,730首(一般2,086首、児童生徒の部1,644首) 令和6年度 3,270千円 応募数3,795首(一般2,163首、児童生徒の部1,632首) 3,237千円 大伴家持大賞30周年記念事業開催	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 共催：新日本海新聞社 時期：令和7年10月中旬の日曜日 内容：短歌募集を行い、大伴家持大賞として選考、審査し表彰式を行う。また、小中高校生を対象とした短歌講座を行い、短歌の裾野を広げる。	
財源内訳		【事業の実績】 令和4年度 3,300千円 応募数4,037首(一般1,841首、児童生徒の部2,196首) 令和5年度 3,300千円 応募数3,730首(一般2,086首、児童生徒の部1,644首) 令和6年度 3,270千円 応募数3,795首(一般2,163首、児童生徒の部1,632首) 3,237千円 大伴家持大賞30周年記念事業開催	
国・県支出金	614	【事業の内容】 共催：新日本海新聞社 時期：令和7年10月中旬の日曜日 内容：短歌募集を行い、大伴家持大賞として選考、審査し表彰式を行う。また、小中高校生を対象とした短歌講座を行い、短歌の裾野を広げる。	
地方債	0	【事業の実績】 令和4年度 3,300千円 応募数4,037首(一般1,841首、児童生徒の部2,196首) 令和5年度 3,300千円 応募数3,730首(一般2,086首、児童生徒の部1,644首) 令和6年度 3,270千円 応募数3,795首(一般2,163首、児童生徒の部1,632首) 3,237千円 大伴家持大賞30周年記念事業開催	
その他	0	【事業の内容】 共催：新日本海新聞社 時期：令和7年10月中旬の日曜日 内容：短歌募集を行い、大伴家持大賞として選考、審査し表彰式を行う。また、小中高校生を対象とした短歌講座を行い、短歌の裾野を広げる。	
一般財源	2,456	【事業の実績】 令和4年度 3,300千円 応募数4,037首(一般1,841首、児童生徒の部2,196首) 令和5年度 3,300千円 応募数3,730首(一般2,086首、児童生徒の部1,644首) 令和6年度 3,270千円 応募数3,795首(一般2,163首、児童生徒の部1,632首) 3,237千円 大伴家持大賞30周年記念事業開催	
計	3,070	【事業の内容】 共催：新日本海新聞社 時期：令和7年10月中旬の日曜日 内容：短歌募集を行い、大伴家持大賞として選考、審査し表彰式を行う。また、小中高校生を対象とした短歌講座を行い、短歌の裾野を広げる。	
備考欄			

支所003	項目名	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費		新規事業
予算書項目	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費	ページ	291	所 属 名
年度	R7	福部町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 福部町総合支所地域振興課 0857-30-8662			
款 教育費	【11次総の施策体系】 1303、2403			
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】			
目 体育振興費	本大会は、令和7年度で39回を迎え、山陰海岸国立公園鳥取大砂丘と全国有数の生産を誇る鳥取砂丘らっきょうを全国にPRする目的で企画している。平成28年度より実行委員会運営方式としている。			
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	3,216	鳥取市の花であるらっきょうの花が咲く中、さわやかな汗を流し、体づくり励んでもらうとともに、山陰海岸ジオパーク、「鳥取砂丘らっきょう」及び「ふくべ砂丘らっきょう」の素晴らしさをさらに発信していく場とする。		
本年度要求額	3,216	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	3,216	らっきょうの花が咲く10月の最終日曜日（予定）にマラソン大会を開催する。		
市長段階査定額	3,216	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	令和4年度 0千円（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止）		
財源内訳		令和5年度 3,212千円 参加者783人		
国・県支出金	0	令和6年度 3,887千円 参加者924人		
地方債	0	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
その他	95			
一般財源	3,121			
計	3,216			
備考欄				

支所004	項目名	らっきょう生産振興大会助成事業		新規事業
予算書項目	地域特産物振興対策事業費	ページ	235	所 属 名
年度	R7	福部町総合支所 産業建設課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 福部町総合支所産業建設課 0857-30-8666			
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】 2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】			
目 農業振興費	平成4年度から令和元年度まで毎年開催されており、令和2年度から令和4年度は休止していたが令和5年度に再開した。また、「鳥取砂丘らっきょう」「ふくべ砂丘らっきょう」が、平成28年3月農林水産省から地理的表示保護制度（GIマーク）に登録された。GIマーク登録は、生産者の自信と生産基盤の強化につながっている。			
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	168	らっきょう生産に一層の意欲向上を図り、さらなるブランド化の定着を目指す。		
本年度要求額	168	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	168	らっきょう生産振興大会経費のうち1/2を乗じて得た額を予算の範囲内で補助		
市長段階査定額	168	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	令和4年度 0千円（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止）		
財源内訳		令和5年度 171千円（令和5年10月28日開催・100名参加）		
国・県支出金	0	令和6年度 168千円（令和6年10月26日開催・90名参加）（見込）		
地方債	0			
その他	0			
一般財源	168			
計	168			
備考欄				

支所005	項目名	地域プロジェクトマネージャー事業費		新規事業
予算書項目	新地域特別振興費	ページ	171	所 属 名
年度	R7	河原町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】河原町総合支所地域振興課 0858-71-1722			
款 総務費	【11次総の施策体系】2403 ●実施計画			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 少子高齢化、核家族化とそれに伴う空き家の増加が顕著に進行し、地域活動や経済活動が低迷しつつある河原地域において、地域の活性化や定住促進を図るためには、さまざまなアイデアやスキルを有する地域の有能な人材のサポートを必要としている。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 有能な人材を地域プロジェクトマネージャーとして委嘱することにより、河原地域の空家対策の推進および「いなば西郷工芸の郷」のブランド力の向上、新たな工芸作家の呼び込み等により、文化振興・移住定住促進を進め、もって地域の活性化を図り、将来にわたって安心して暮らしていけるまちづくりにつなげていくもの。			
(単位：千円)	【事業の内容】 西郷工芸祭りをはじめとした各種イベントの企画・実施、工芸作家との調整、地域住民との折衝などを通じて、地域での住民アイデンティティの確立を促し、地域のブランド力を高める。			
前年度当初予算額	3,249	河原町全域の空き家対策の推進のため、地区公民館・まち協及び地域住民と連携を取りながら地域の空き家の詳細な実態を把握するとともに地域ぐるみで空き家対策に取り組む機運を醸成していき、利活用可能な空家を工芸作家や移住者の住居や店舗などに利活用する仕組みづくりを構築していくほか、地域の景観や安全に支障が生じる恐れのある空き家へのアプローチを行う。		
本年度要求額	4,370	【事業の実績】 令和6年度 3,656千円（見込）		
総務部長段階査定額	4,370	【事業の内容】 西郷工芸祭りをはじめとした各種イベントの企画・実施、工芸作家との調整、地域住民との折衝などを通じて、地域での住民アイデンティティの確立を促し、地域のブランド力を高める。		
市長段階査定額	4,370	河原町全域の空き家対策の推進のため、地区公民館・まち協及び地域住民と連携を取りながら地域の空き家の詳細な実態を把握するとともに地域ぐるみで空き家対策に取り組む機運を醸成していき、利活用可能な空家を工芸作家や移住者の住居や店舗などに利活用する仕組みづくりを構築していくほか、地域の景観や安全に支障が生じる恐れのある空き家へのアプローチを行う。		
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和6年度 3,656千円（見込）		
財源内訳		【事業の内容】 西郷工芸祭りをはじめとした各種イベントの企画・実施、工芸作家との調整、地域住民との折衝などを通じて、地域での住民アイデンティティの確立を促し、地域のブランド力を高める。		
国・県支出金	0	河原町全域の空き家対策の推進のため、地区公民館・まち協及び地域住民と連携を取りながら地域の空き家の詳細な実態を把握するとともに地域ぐるみで空き家対策に取り組む機運を醸成していき、利活用可能な空家を工芸作家や移住者の住居や店舗などに利活用する仕組みづくりを構築していくほか、地域の景観や安全に支障が生じる恐れのある空き家へのアプローチを行う。		
地方債	0	河原町全域の空き家対策の推進のため、地区公民館・まち協及び地域住民と連携を取りながら地域の空き家の詳細な実態を把握するとともに地域ぐるみで空き家対策に取り組む機運を醸成していき、利活用可能な空家を工芸作家や移住者の住居や店舗などに利活用する仕組みづくりを構築していくほか、地域の景観や安全に支障が生じる恐れのある空き家へのアプローチを行う。		
その他	0	河原町全域の空き家対策の推進のため、地区公民館・まち協及び地域住民と連携を取りながら地域の空き家の詳細な実態を把握するとともに地域ぐるみで空き家対策に取り組む機運を醸成していき、利活用可能な空家を工芸作家や移住者の住居や店舗などに利活用する仕組みづくりを構築していくほか、地域の景観や安全に支障が生じる恐れのある空き家へのアプローチを行う。		
一般財源	4,370	河原町全域の空き家対策の推進のため、地区公民館・まち協及び地域住民と連携を取りながら地域の空き家の詳細な実態を把握するとともに地域ぐるみで空き家対策に取り組む機運を醸成していき、利活用可能な空家を工芸作家や移住者の住居や店舗などに利活用する仕組みづくりを構築していくほか、地域の景観や安全に支障が生じる恐れのある空き家へのアプローチを行う。		
計	4,370	河原町全域の空き家対策の推進のため、地区公民館・まち協及び地域住民と連携を取りながら地域の空き家の詳細な実態を把握するとともに地域ぐるみで空き家対策に取り組む機運を醸成していき、利活用可能な空家を工芸作家や移住者の住居や店舗などに利活用する仕組みづくりを構築していくほか、地域の景観や安全に支障が生じる恐れのある空き家へのアプローチを行う。		
備考欄				

支所006	項目名	河原城イベント企画事業費		新規事業
予算書項目	観光活動費	ページ	247	所 属 名
年度	R7	河原町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】河原町総合支所地域振興課 0858-71-1722			
款 商工費	【11次総の施策体系】2403			
項 商工費	【事業の経過及び背景】 河原城は平成6年の設立当時から地域の拠点、シンボルとしての事業を展開してきた。地域に親しまれ、地域内外からの集客を図り、地域活性化の拠点となっている。			
目 観光費	【事業の目的及び効果】 観光客数や来場者数の減少が見込まれる中、行政、地域の各種団体と協働でイベントを実施することで、地域の活性化、まちおこしが図られる。 また、県内外からの誘客も期待されている。			
(単位：千円)	【事業の内容】 (1)「春フェス（茶会）」 内 容：大学生等によるお茶会 チャリティ事業として収益を日赤等へ寄付している。 時 期：令和7年5月 参加予定人数：1,000人 総事業費：約137万円 (2)「月見会」 内 容：バザー（ぜんざい、もちつきなど）、ステージイベント等 時 期：令和7年9月 参加予定人数：1,000人 総事業費：約187万円 主 催：風土資産研究会 場所：河原城			
前年度当初予算額	1,355	【事業の実績】		
本年度要求額	1,355	令和4年度 茶 会 月見会 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止 令和5年度 100人 70人 令和6年度 1,186人 935人		
総務部長段階査定額	1,355	【事業の内容】 (1)「春フェス（茶会）」 内 容：大学生等によるお茶会 チャリティ事業として収益を日赤等へ寄付している。 時 期：令和7年5月 参加予定人数：1,000人 総事業費：約137万円 (2)「月見会」 内 容：バザー（ぜんざい、もちつきなど）、ステージイベント等 時 期：令和7年9月 参加予定人数：1,000人 総事業費：約187万円 主 催：風土資産研究会 場所：河原城		
市長段階査定額	1,355	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	令和4年度 茶 会 月見会 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止 令和5年度 100人 70人 令和6年度 1,186人 935人		
財源内訳		【事業の内容】 (1)「春フェス（茶会）」 内 容：大学生等によるお茶会 チャリティ事業として収益を日赤等へ寄付している。 時 期：令和7年5月 参加予定人数：1,000人 総事業費：約137万円 (2)「月見会」 内 容：バザー（ぜんざい、もちつきなど）、ステージイベント等 時 期：令和7年9月 参加予定人数：1,000人 総事業費：約187万円 主 催：風土資産研究会 場所：河原城		
国・県支出金	0	【事業の実績】		
地方債	0	令和4年度 茶 会 月見会 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止 令和5年度 100人 70人 令和6年度 1,186人 935人		
その他	0	【事業の内容】 (1)「春フェス（茶会）」 内 容：大学生等によるお茶会 チャリティ事業として収益を日赤等へ寄付している。 時 期：令和7年5月 参加予定人数：1,000人 総事業費：約137万円 (2)「月見会」 内 容：バザー（ぜんざい、もちつきなど）、ステージイベント等 時 期：令和7年9月 参加予定人数：1,000人 総事業費：約187万円 主 催：風土資産研究会 場所：河原城		
一般財源	1,355	【事業の実績】		
計	1,355	令和4年度 茶 会 月見会 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止 令和5年度 100人 70人 令和6年度 1,186人 935人		
備考欄				

支所007	項目名	あゆ祭補助金	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	247
年度	R7	所 属 名	河原町総合支所 産業建設課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河原町総合支所産業建設課 0858-71-1726		
款 商工費	【11次総の施策体系】2202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 河原町は古くから「あゆの町」として知られており、あゆの豊漁を願うと同時に、「あゆの町・かわはら」を広くPRするためにあゆ祭を開催している。また、夏の風物詩として定着している。平成30年は7月豪雨の影響により祭りを開催することができなかったが、令和元年度、改めて第40回の記念大会として実施し、より一層のPRにつなげた。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 地域住民と行政が連携し、河原町の魅力アップと地域活性化と経済の活性化を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 第43回あゆ祭 主催：あゆ祭企画実行委員会 あゆのつかみ取り、鮎の塩焼き、子ども広場、子ども太鼓、女性太鼓、ステージショー、花火大会等		
前年度当初予算額	5,145	【事業の実績】 令和4年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止 令和5年度 補助金 5,145千円 入込客数 20,000人 令和6年度 補助金 5,145千円 入込客数 20,000人	
本年度要求額	5,145	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	5,145	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	5,145	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
国・県支出金	0	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	527	財産収入	0
一般財源	4,618	寄付金	0
計	5,145	繰入金	527
		贈収金	0
		その他	0
備考欄			

支所008	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	171
年度	R7	所 属 名	用瀬町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】用瀬町総合支所地域振興課 0858-71-1892		
款 総務費	【11次総の施策体系】2403 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 用瀬町地域においても人口減少と少子高齢化が進行し、地域の活性化や民俗文化の継承を担う体制の継承が大きな課題となっている。毎年旧暦3月3日に行われる民俗文化「ひな送り」は、伝統行事としてまた「流しびなの里もちがせ」の観光資源としての魅力を有しているが、流しびな製作技術の継承等が難しくなっており、観光資源としての特性を生かしたPR活動も十分にできていない。また、空き家・空き店舗が増加しているが、それらが十分に活用されていない状況がある。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 上記の地域課題を改善するため、以下の事業に取り組む ・伝統文化の技術を継承し、持続可能な体制づくりと観光資源としての活用につなげる ・まちの魅力をSNSなどで積極的に発信し、若者を地域に呼び込む ・空き家の掘り起こしと活用による地域活性化		
(単位：千円)	【事業の内容】 地域おこし協力隊の設置 流しびな製作技術の継承、持続可能な体制づくり、活用の企画等、空き家の掘り起こしと利活用、関係人口の増加の取組		
前年度当初予算額	2,359	【事業の実績】 令和4年度 1,884千円 (R4.9.30任期終了) 令和5年度 160千円 (おためし地域おこし協力隊事業) 令和6年度 1,546千円 (R6.11.1～1名新隊員着任) (見込)	
本年度要求額	4,545	【その他財源の内訳】	
総務部長段階査定額	4,545	分担金	0
市長段階査定額	4,545	負担金	0
区分	本年度予算額	使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	4,545	繰入金	0
計	4,545	贈収金	0
		その他	0
備考欄			

支所009	項目名	ジゲおこし事業費	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	247
年度	R7	所 属 名	用瀬町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】用瀬町総合支所地域振興課 0858-71-1892		
款 商工費	【11次総の施策体系】2201 ●実施計画		
項 商工費	【事業の経過及び背景】		
目 観光費	「用瀬町ジゲおこし事業」は、昭和63年度から流しびなの里もちがせの地域活性化を目的に、ボランティアの委員で構成する用瀬町ジゲおこし実行委員会が、流しびなの里のイメージを内外に広めながら、地域の観光資源を活用して事業実施している。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	1,654	千代川や用瀬山系等を活用したイベントを支援することにより、地域の活性化や関係人口の創出・拡大を図る。	
本年度要求額	1,654	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	1,654	・イベント名 用瀬町ジゲおこし事業 ※ふれあいフェスティバル、用瀬山系トレイル交流大会（春、秋） 川遊びフェスティバル、用瀬宿横丁さんぼ市の4事業	
市長段階査定額	1,654	・主催団体 用瀬町ジゲおこし実行委員会 ・実施予定月 フェスティバル（8月）、トレイル（春・夏）、川遊び（夏） さんぼ市（11月） ・実施場所 用瀬町内	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		令和4年度 430千円（参加者：570人） 令和5年度 1,631千円（参加者：2,604人） 令和6年度 1,654千円（参加者：1,700人）（見込）	
国・県支出金	0	分担金 0	
地方債	0	負担金 0	
その他	0	使用料 0	
一般財源	1,654	手数料 0	
計	1,654	財産収入 0	
		寄付金 0	
		繰入金 0	
		贈収金 0	
		その他 0	
備考欄			

支所010	項目名	ふるさとの味祭り事業費補助金	新規事業
予算書項目	むらづくり活性化推進事業費	ページ	233
年度	R7	所 属 名	佐治町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】佐治町総合支所地域振興課 0858-71-1912		
款 農林水産業費	【11次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】		
目 農業総務費	「佐治ふるさと祭り」は昭和57年から佐治地域の秋の収穫祭として開催しており、平成27年からは、公民館祭りと同開催としている。また、令和元年度からは、小学校の学習発表会も合同で開催している。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	1,350	地域の産物や伝統文化を広くPRするとともに、町内の芸術文化団体の活動の成果発表の場として位置付け生涯学習の推進を図り、地域の絆をより一層深め協働のまちづくりを進める。	
本年度要求額	1,350	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	1,350	佐治地域の秋の収穫祭として、地元の農産物や加工品の販売、郷土芸能の発表、公民館事業の展示等を中心とした「佐治ふるさと祭り」を毎年開催している。地域の団体が構成する実行委員会が主催。佐治地域内外の多くの人の参加があり、佐治地域の秋のイベントとして定着している。 主催 佐治ふるさと祭り実行委員会	
市長段階査定額	1,350	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	令和4年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 令和5年度 1,350千円 入込客数800人 令和6年度 1,350千円 入込客数800人	
財源内訳		※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
国・県支出金	0	分担金 0	
地方債	0	負担金 0	
その他	529	使用料 0	
一般財源	821	手数料 0	
計	1,350	財産収入 0	
		寄付金 0	
		繰入金 529	
		贈収金 0	
		その他 0	
備考欄			

支所011	項目名	文化振興費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	281
年度	R7	所 属 名 佐治町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】佐治町総合支所地域振興課 0858-71-1912		
款 教育費	【11次総の施策体系】2301		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 佐治地域の宝である「佐治谷話」を保存伝承するため、佐治民話会への事業委託及び補助により佐治谷ばなし紙芝居や本の作成、小中学生への伝承活動、各地区公民館への普及活動など多様な事業を幅広く行っている。		
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 市指定無形民俗文化財「佐治谷ばなし」を保存・伝承する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 佐治民話会による保存伝承活動への補助金 補助対象事業費 41千円 補助金額 20千円 文化財保存及び保護に関する補助金等交付要綱により事業費の1/2		
前年度当初予算額	25	【事業の実績】 令和4年度 0千円（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業縮小） 令和5年度 7千円 令和6年度 18千円（見込）	
本年度要求額	20		
総務部長段階査定額	20	【事業の内訳】	
市長段階査定額	20	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈入金 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 4		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 16		
計	20		
備考欄			

支所012	項目名	芸術によるまちづくり推進事業費	新規事業
予算書項目	地域振興対策費	ページ	171
年度	R7	所 属 名 気高町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所地域振興課 0857-82-0011		
款 総務費	【11次総の施策体系】2301		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 気高地域では、平成26年8月に「鳥取市新市場振興ビジョン」を策定し、「芸術のまちづくり」の取組を進めている。 令和4年度より「浜村温泉湯けむり映画塾実行委員会」が活動主体となり、映画塾やワークショップを企画・運営するとともに気高町を舞台とした映画の撮影を行い、地域の魅力の発信や活性化に貢献している。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 「芸術のまちづくり」を通して、地域の魅力発信、地域間交流、観光客や芸術家の誘致など、地域の活性化を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 浜村温泉湯けむり映画塾の開催 ①ワークショップ ②作品撮影、上映会の開催		
前年度当初予算額	1,000	【事業の実績】	
本年度要求額	1,000	令和4年度 気高町出身の作家田中古代子とその娘千鳥を モチーフとした作品「幻影～浜村天使殺人事件～」 1,000千円	
総務部長段階査定額	1,000	令和5年度 初年度に制作した「ようこそ浜村へ」の10年後を 描く「ようこそ浜村へ、と言いたくて」 1,000千円	
市長段階査定額	1,000	令和6年度 「クリスマスプレゼントをあなたに」を制作し、 3月2日に映画祭で上映 1,000千円（見込） ※地域の魅力を発信するため、浜村と小泉八雲に関するトークイベントを 8月に開催した。	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 0		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 1,000		
計	1,000		
備考欄			

支所013	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	171
年度	R7	所 属 名	
		気高町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所地域振興課 0857-82-0011		
款 総務費	【11次総の施策体系】2403 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 気高地域においては人口減少、少子高齢化が進行しており、空き家・空き店舗など遊休不動産の増加や、温泉などの地域内資源の利活用が進まないなどの課題を抱えている。 効果的な遊休不動産や地域内資源の活用、PR活動を進め、交流人口の増加による地域活性化を推進する必要がある。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 観光資源である浜村温泉を生かしたまちづくりと活気のある街並みの再生を推進するため、温泉の利活用についての検討や空き家の調査・活用を支援を目的とした「地域おこし協力隊」を委嘱し、魅力ある地域の醸成を図り、さらなる移住・定住の促進や地域活性化へつなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 既存イベントをはじめ、地域の特産品や特性を生かしたイベントの調査研究や、新たな企画立案及び事業提案を実施する。また、InstagramなどのSNSを活用した地域の行事や名所などのPR及び情報発信を行う。		
前年度当初予算額	4,177	【事業の実績】	
本年度要求額	3,615	令和4年度 地域おこし協力隊の配置 (R5.1~) 1,174千円 令和5年度 地域おこし協力隊の配置 (継続配置) 3,660千円 令和6年度 地域おこし協力隊の配置 (~R7.12) 4,493千円 (見込)	
総務部長段階査定額	3,615	【事業の内容】 既存イベントをはじめ、地域の特産品や特性を生かしたイベントの調査研究や、新たな企画立案及び事業提案を実施する。また、InstagramなどのSNSを活用した地域の行事や名所などのPR及び情報発信を行う。	
市長段階査定額	3,615	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	令和4年度 地域おこし協力隊の配置 (R5.1~) 1,174千円 令和5年度 地域おこし協力隊の配置 (継続配置) 3,660千円 令和6年度 地域おこし協力隊の配置 (~R7.12) 4,493千円 (見込)	
財源内訳		【事業の内容】 既存イベントをはじめ、地域の特産品や特性を生かしたイベントの調査研究や、新たな企画立案及び事業提案を実施する。また、InstagramなどのSNSを活用した地域の行事や名所などのPR及び情報発信を行う。	
国・県支出金	0	【事業の実績】	
地方債	0	令和4年度 地域おこし協力隊の配置 (R5.1~) 1,174千円 令和5年度 地域おこし協力隊の配置 (継続配置) 3,660千円 令和6年度 地域おこし協力隊の配置 (~R7.12) 4,493千円 (見込)	
その他	0	【事業の内容】 既存イベントをはじめ、地域の特産品や特性を生かしたイベントの調査研究や、新たな企画立案及び事業提案を実施する。また、InstagramなどのSNSを活用した地域の行事や名所などのPR及び情報発信を行う。	
一般財源	3,615	【事業の実績】	
計	3,615	令和4年度 地域おこし協力隊の配置 (R5.1~) 1,174千円 令和5年度 地域おこし協力隊の配置 (継続配置) 3,660千円 令和6年度 地域おこし協力隊の配置 (~R7.12) 4,493千円 (見込)	
備考欄			

支所014	項目名	貝がら節の郷づくり協議会補助金	新規事業
予算書項目	各種団体補助金負担金	ページ	247
年度	R7	所 属 名	
		気高町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所地域振興課 0857-82-0011		
款 商工費	【11次総の施策体系】2201		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 浜村温泉街の再生を図るため、平成21年度に貝がら節の郷づくり協議会を組織し「貝がら節のふるさと」気高町をPRする事業を実施している。平成28年度から他団体が実施してきた「気高ときめき祭り」を当協議会が運営し、さらなる活性化に取り組んでいる。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 「貝がら節」をキーワードに事業を展開し、気高地域への誘客を図り地域の活性化につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・しょうがぼかぼかフェスタ ・ポタリング事業 ・気高ときめきまつり ・貝がら節保存・伝承事業 ・浜村駅・宝木駅環境整備事業		
前年度当初予算額	2,213	【事業の実績】	
本年度要求額	3,893	令和4年度 [ぼかぼかフェスタ] [ときめきまつり] [事業費] 延べ1,200人 延べ1,000人 1,868千円 令和5年度 延べ2,000人 延べ2,000人 1,868千円 令和6年度 R7.3.2開催 延べ1,800人 2,213千円 (見込)	
総務部長段階査定額	2,213	【事業の内容】 ・しょうがぼかぼかフェスタ ・ポタリング事業 ・気高ときめきまつり ・貝がら節保存・伝承事業 ・浜村駅・宝木駅環境整備事業	
市長段階査定額	2,213	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	令和4年度 [ぼかぼかフェスタ] [ときめきまつり] [事業費] 延べ1,200人 延べ1,000人 1,868千円 令和5年度 延べ2,000人 延べ2,000人 1,868千円 令和6年度 R7.3.2開催 延べ1,800人 2,213千円 (見込)	
財源内訳		【事業の内容】 ・しょうがぼかぼかフェスタ ・ポタリング事業 ・気高ときめきまつり ・貝がら節保存・伝承事業 ・浜村駅・宝木駅環境整備事業	
国・県支出金	442	【事業の実績】	
地方債	0	令和4年度 [ぼかぼかフェスタ] [ときめきまつり] [事業費] 延べ1,200人 延べ1,000人 1,868千円 令和5年度 延べ2,000人 延べ2,000人 1,868千円 令和6年度 R7.3.2開催 延べ1,800人 2,213千円 (見込)	
その他	0	【事業の内容】 ・しょうがぼかぼかフェスタ ・ポタリング事業 ・気高ときめきまつり ・貝がら節保存・伝承事業 ・浜村駅・宝木駅環境整備事業	
一般財源	1,771	【事業の実績】	
計	2,213	令和4年度 [ぼかぼかフェスタ] [ときめきまつり] [事業費] 延べ1,200人 延べ1,000人 1,868千円 令和5年度 延べ2,000人 延べ2,000人 1,868千円 令和6年度 R7.3.2開催 延べ1,800人 2,213千円 (見込)	
備考欄			

支所015	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	171
年度	R7	所 属 名	鹿野町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所地域振興課 0857-30-8682		
款 総務費	【11次総の施策体系】2403 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 鹿野町では空き地・空き家・耕作放棄地の課題解決に取り組んでいるが、移住希望者等のニーズがあり空き家も増加しているにもかかわらず、空き家の確保が十分に進んでおらず応えられていない。 また河内地区では耕作放棄地対策として鹿野町河内果樹の里山プロジェクトを推進している。現在約4.5haに計850本の果樹を植え、大学生等の協力も得て、都市との交流、果樹を利用した商品化に取り組んでいるが、後継者育成・商品開発・販売ネットワーク構築についてはまだ十分に組み立てているとは言えない。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 鹿野町の空き地・空き家・耕作放棄地の課題解決・資源化に、地域おこし協力隊の新たな知恵と行動を加え地域の活性化につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 地域おこし協力隊を1名配置 ①空き家・空き地対策 空き家で発生する古材や古民具等を「地域活性化につながる資源」に変え、新たな魅力として地域に人を呼び込む仕組みづくり ②耕作放棄地対策 果樹の里山産物の販売ルート構築等 委託先：特定非営利活動法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会		
前年度当初予算額	4,059	分担金	0
本年度要求額	5,011	負担金	0
総務部長段階査定額	5,011	使用料	0
市長段階査定額	5,011	手数料	0
区分	本年度予算額	財産収入	0
財源内訳		寄付金	0
国・県支出金	0	繰入金	0
地方債	0	贈収入	0
その他	0	その他	0
一般財源	5,011		
計	5,011		
備考欄			

支所016	項目名	文化交流拠点周辺整備事業費	新規事業
予算書項目	文化交流拠点周辺整備事業費	ページ	171
年度	R7	所 属 名	鹿野町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所地域振興課 0857-30-8682		
款 総務費	【11次総の施策体系】2403 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 町の中心地として住民の心のよりどころとなっている鹿野城跡公園に隣接した旧鹿野小学校跡地はコミュニティ施設と利用されている。また平成18年設立の鳥の劇場はこの地で劇場の演劇公演を中心に地域と一体となった幅広い活動を精力的に展開し、本市の文化芸術の振興、国内外への発信、鹿野地域の賑わい創出などに寄与している。しかし、施設の老朽化等により活動に支障をきたし、令和3年度から地域振興会議や地域住民で組織する委員会で検討を進め、地域住民の抛り処や文化芸術の振興はもとより、産業の振興、交流・関係・定住人口の増加などによる地域の活性化を目指すため、利活用・整備計画を策定した。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 旧校舎の解体及び新施設の建設は国・県・市の補助を受けて鳥の劇場が実施し、訪れる人々が安全・安心・快適に過ごすことのできる「みんなの居場所」へ進化する。併せて旧グラウンド部分は劇場と一体利用できる多目的に使える広場や駐車スペース、通路など、周辺の環境整備を行うことでグラウンドと鹿野城跡につながり、かつての城下町としての一体感が戻り、散歩、レクリエーション、地域の運動会、お花見などの場となる。またグラウンドの一部は駐車場として利用し、屋外舞台を設置して青空の下、鹿野城跡を背景にした野外劇や地域イベントでの活用ができる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）（補助率1/2）活用事業 整備内容 駐車場46台、場内通路幅員5m、広場整備、管理資材倉庫 整備計画 (市) (鳥の劇場) 令和5年度 旧校舎解体1期、旧幼稚園改修 令和6年度 実施設計 新施設建設 令和7年度 広場駐車場工事 旧校舎解体2期		
前年度当初予算額	9,263	分担金	0
本年度要求額	47,410	負担金	0
総務部長段階査定額	46,872	使用料	0
市長段階査定額	46,872	手数料	0
区分	本年度予算額	財産収入	0
財源内訳		寄付金	0
国・県支出金	23,436	繰入金	0
地方債	23,400	贈収入	0
その他	0	その他	0
一般財源	36		
計	46,872		
備考欄	【事業の実績】 令和6年度 実施設計 8,128千円		

支所017	項目名	わったいな祭事業費	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	247
年度	R7	所 属 名	鹿野町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所地域振興課 0857-30-8682		
款 商工費	【11次総の施策体系】2201 ●実施計画		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 平成12年度から行政が主体となって実施してきた「鹿野町わったいな祭」を令和4年度から地域の活性化を目指し、民間が主体となって企画運営する補助事業として実施。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 鹿野地域のにぎわい創出と交流人口の増を目的に、住民の地域づくりの意識向上と地域経済の活性化に寄与している。		
(単位：千円)	【事業の内容】 秋の地元行事(鳥の演劇祭、週末だけのまちのみせ)の主会場となる、城下町町中イベントや、特産・農産品等即売イベントの「鹿野えもん市」、文化団体発表イベントを開催		
前年度当初予算額	1,939	①城下町並みPR事業：週末だけのまちの店(9/27, 28)、土曜夜市(8/23)	
本年度要求額	2,206	②農産物・特産物販売促進事業 ・鹿野えもん市(10/19) ・鷲峯山麓ハーフマラソン ・河内果樹の里山まつり(11月) ・「#うれしかの」キャンペーン事業 ・とっとりカフェ、鷲峯山麓ハーフマラソンでの鹿野特産品PR事業	
総務部長段階査定額	2,206	③芸能発表、作品展示事業：芸能発表、作品展示(10月)	
市長段階査定額	2,206	【事業の実績】 令和4年度 来場者数(累計) 約3,000人 決算額 1,939千円 令和5年度 来場者数(累計) 約6,500人 決算額 1,939千円 令和6年度 来場者数(累計) 約4,500人 決算額 1,939千円(見込)	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	969	令和4年度 来場者数(累計) 約3,000人 決算額 1,939千円	
地方債	0	令和5年度 来場者数(累計) 約6,500人 決算額 1,939千円	
その他	0	令和6年度 来場者数(累計) 約4,500人 決算額 1,939千円(見込)	
一般財源	1,237		
計	2,206		
備考欄			

支所018	項目名	町民音楽祭開催費	新規事業
予算書項目	市民音楽祭開催費	ページ	281
年度	R7	所 属 名	鹿野町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所地域振興課 0857-30-8682		
款 教育費	【11次総の施策体系】2301 ●実施計画		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 鹿野町民音楽祭実行委員会が主体として開催するふるさとミュージカルは、昭和62年にはじまり、多数住民が参画しながら継続して開催され、鹿野発の鳥取市民ミュージカルとして、またレベルの高い芸術活動として内外から認知されるようになった。		
目 文化振興費	令和7年度は、活動着手以来39周年を迎え、◎次世代の育成・すそ野の拡大、◎各種地域団体と連携し地域活性化を促進、◎ウィズコロナ時代に即した公演のあり方の提案を柱にしてコロナ前同程度への活動の活発化を目指す。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 地域の文化芸術振興・魅力ある地域づくり・多世代間交流の促進による住民コミュニティの醸成等を総合的に支援するため、継続した活動補助を行う。		
前年度当初予算額	3,200	ミュージカルの制作期間は約半年間に及び、この間に展開される広い年齢層の市民交流は良好な市民コミュニティづくりに際しても貢献している。	
本年度要求額	3,200	【事業の内容】 第39回鹿野ふるさとミュージカル「鹿野の蒼白い夜」 ・時期：令和7年8月～令和8年2月(調整中) ・会場：鳥取市民会館 大ホール ・主催：鹿野町民音楽祭実行委員会	
総務部長段階査定額	3,200	【事業の実績】 令和4年度 1,864千円 鳥取県総合芸術文化祭(とりアート)に参加する形態で縮小再編し制作上演	
市長段階査定額	3,200	令和5年度 3,200千円 700人 音楽劇さくら姫物語 鳥取市民会館	
区分	本年度予算額	令和6年度 3,200千円 鹿野にはかっぱやまどりくもの糸 鳥取市民会館開催予定(見込)	
国・県支出金	1,600		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,600		
計	3,200		
備考欄			

支所019	項目名	鹿野城跡公園管理費	新規事業
予算書項目	公園管理費	ページ	261
年度	R7	所 属 名	鹿野町総合支所 産業建設課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所産業建設課 0857-30-8686		
款 土木費	【11次総の施策体系】2401		
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】 鹿野城跡公園は、戦国時代末期から栄えた鹿野城の城郭遺構（鳥取市指定史跡指定）を平成7年度に「市民の憩いの場」「観光レクリエーション」「歴史文化教育の場」を目的に整備し、城山の天守跡、山麓の本丸・二ノ丸、水をたたえる内堀・外堀・薬研堀、その周囲約3.6haからなる公園となっている。春には県内有数の桜の名所として多くの花見客が訪れ、秋には紅葉の彩りも楽しむことができる。 また、地域を象徴する施設であることから住民等による除草・清掃などのボランティア活動が盛んで、お花見シーズンのポンボリ等の設置やイベントが活発に行われている。		
目 公園管理費	【事業の目的及び効果】 鹿野城跡公園の維持管理業務を適正に行い、安全、安心な憩いの場を市民及び観光客へ提供する。また、桜が老木となる中、生育調査を行った上で維持管理計画の策定を検討し、環境保全及び安全性の確保を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 鹿野城跡公園管理業務		
前年度当初予算額	5,302	【事業の実績】 令和4年度 4,988千円 令和5年度 4,050千円 令和6年度 5,302千円（見込）	
本年度要求額	8,884	※その他財源の使用料は、行政財産使用料 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	6,619	その他財源の内訳	
市長段階査定額	6,619	分担金	0
		負担金	0
		使用料	1
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	544
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	545		
一般財源	6,074		
計	6,619		
備考欄			

支所020	項目名	青谷地域活性化推進事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	171
年度	R7	所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】青谷町総合支所地域振興課 0857-30-8692		
款 総務費	【11次総の施策体系】2403		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 青谷地域は地域資源が豊富であり、青谷の自然、歴史文化などの魅力を次代に継承すべく、様々な活動に地域住民主体で取り組んでいく必要がある。そのため、個々のまちづくり団体等の活動を青谷地域全体の取組とするため、活動母体となる組織「青谷地域づくり連絡協議会」を中心として盛り上げていく。 また、青谷地域を代表する伝統工芸品「因州和紙」を市内外に発信するため、因州和紙作品の展示紹介などを行う。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 青谷地域づくり連絡協議会が取り組む地域振興事業に対して補助をする。 また、和紙工芸グループの協力により因州和紙作品の展示などを行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・青谷地域づくり連絡協議会事業 ①郷土芸能保存伝承活動 ②美化活動 ③鳴り砂保全活動 ④青谷上寺地遺跡学習活動 ⑤青谷町物産販売促進活動 ⑥青谷の魅力発掘活動 ⑦観光促進活動 ・因州和紙PR事業 和紙工芸グループによる因州和紙作品の展示紹介		
前年度当初予算額	1,187	【事業の実績】 令和4年度 1,130千円 令和5年度 1,126千円 令和6年度 1,187千円（見込）	
本年度要求額	1,144		
総務部長段階査定額	1,144	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,144	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,144		
計	1,144		
備考欄			

支所021	項目名	青谷上寺地遺跡地域利活用運営事業費		新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	171	所 属 名
年度	R7	青谷町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】青谷町総合支所地域振興課 0857-30-8692			
款 総務費	【11次総の施策体系】2403			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 青谷上寺地遺跡は、良好な保存状態で出土した多種多様な遺物により「地下の弥生博物館」と称され、関係者のみならず歴史愛好家や一般観光客にも注目が高まっている。 青谷地域では、貴重な歴史遺産を生かした地域づくりを進めるべく、地元の小学校、中学校、並びに県立青谷高等学校の学習カリキュラムに歴史学習を積極的に取り入れ、一貫した歴史学の拠点としての魅力を高めていく取組を行っている。 特に、青谷高等学校は、青谷上寺地遺跡の歴史資産を活用した新たなカリキュラムを創設し、1年次生から3年次生に至るまで、継続的に青谷上寺地遺跡を素材とした学習体制を整えるなど、近隣他県にない専門的な考古学を打ち出した学校の魅力づくりを行っている。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 青谷上寺地遺跡学習を履修するため、県外から入学した生徒の生活支援を行うことより、将来の地元就労や地域貢献など、青谷上寺地遺跡を活用した地域の振興につなげていく。			
(単位：千円)	【事業の内容】 青谷上寺地遺跡地域学習環境整備支援事業 「弥生文化探究」を含めた青谷上寺地遺跡学習等を履修するため、県外から青谷高等学校へ入学し、青谷町内または鳥取市内に下宿する生徒に対して生活費の一部を支援する。 補助金額 10千円×12か月×1人=120千円			
前年度当初予算額	240	【事業の実績】 令和5年度 0千円 令和6年度 120千円（見込）		
本年度要求額	240	【事業の目的及び効果】 青谷上寺地遺跡学習を履修するため、県外から入学した生徒の生活支援を行うことより、将来の地元就労や地域貢献など、青谷上寺地遺跡を活用した地域の振興につなげていく。		
総務部長段階査定額	240	【事業の内容】 青谷上寺地遺跡地域学習環境整備支援事業 「弥生文化探究」を含めた青谷上寺地遺跡学習等を履修するため、県外から青谷高等学校へ入学し、青谷町内または鳥取市内に下宿する生徒に対して生活費の一部を支援する。 補助金額 10千円×12か月×1人=120千円		
市長段階査定額	240	【事業の実績】 令和5年度 0千円 令和6年度 120千円（見込）		
区分	本年度予算額	【事業の目的及び効果】 青谷上寺地遺跡学習を履修するため、県外から入学した生徒の生活支援を行うことより、将来の地元就労や地域貢献など、青谷上寺地遺跡を活用した地域の振興につなげていく。		
財源内訳		【事業の内容】 青谷上寺地遺跡地域学習環境整備支援事業 「弥生文化探究」を含めた青谷上寺地遺跡学習等を履修するため、県外から青谷高等学校へ入学し、青谷町内または鳥取市内に下宿する生徒に対して生活費の一部を支援する。 補助金額 10千円×12か月×1人=120千円		
国・県支出金	0	【事業の実績】 令和5年度 0千円 令和6年度 120千円（見込）		
地方債	0	【事業の目的及び効果】 青谷上寺地遺跡学習を履修するため、県外から入学した生徒の生活支援を行うことより、将来の地元就労や地域貢献など、青谷上寺地遺跡を活用した地域の振興につなげていく。		
その他	0	【事業の内容】 青谷上寺地遺跡地域学習環境整備支援事業 「弥生文化探究」を含めた青谷上寺地遺跡学習等を履修するため、県外から青谷高等学校へ入学し、青谷町内または鳥取市内に下宿する生徒に対して生活費の一部を支援する。 補助金額 10千円×12か月×1人=120千円		
一般財源	240	【事業の実績】 令和5年度 0千円 令和6年度 120千円（見込）		
計	240	【事業の目的及び効果】 青谷上寺地遺跡学習を履修するため、県外から入学した生徒の生活支援を行うことより、将来の地元就労や地域貢献など、青谷上寺地遺跡を活用した地域の振興につなげていく。		
備考欄				

支所022	項目名	青谷地域にぎわい創出事業補助金		新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	247	所 属 名
年度	R7	青谷町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】青谷町総合支所地域振興課 0857-30-8692			
款 商工費	【11次総の施策体系】2403			
項 商工費	【事業の経過及び背景】 平成28年度から、因州和紙の産地強化とまちなかの賑わいを目的とした、定期的なイベント等を実施。令和3年度より青谷上寺地遺跡利活用を加えた3つの取組を推進している。			
目 観光費	【事業の目的及び効果】 地域資源である因州和紙の魅力を発信する事業、青谷のまちなかに賑わいを取り戻す事業、青谷上寺地遺跡利活用推進事業を通して、地域の魅力づくりと情報発信により地域の活性化を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 主催団体：青谷地域にぎわい創出実行委員会 ①「青谷因州和紙産地強化事業」 因州和紙市場開拓・情報発信事業、地域連携事業、伝統技術等の保存・継承事業 ②「青谷ようこそ市場（通称：「あおいち」）事業」 あおいち年3～4回、あおいちギャラリー ③「青谷上寺地遺跡利活用推進事業」 とっとり弥生の王国 青谷かみじちフェスタ、青谷かみじちスタンプラリー、青谷かみじち史跡公園オープンによるまちのにぎわいづくりを進めるつどい			
前年度当初予算額	2,850	【事業の実績】 令和4年度 1,969千円 令和5年度 2,485千円 令和6年度 2,850千円（見込）		
本年度要求額	2,850	【事業の目的及び効果】 地域資源である因州和紙の魅力を発信する事業、青谷のまちなかに賑わいを取り戻す事業、青谷上寺地遺跡利活用推進事業を通して、地域の魅力づくりと情報発信により地域の活性化を図る。		
総務部長段階査定額	2,850	【事業の内容】 主催団体：青谷地域にぎわい創出実行委員会 ①「青谷因州和紙産地強化事業」 因州和紙市場開拓・情報発信事業、地域連携事業、伝統技術等の保存・継承事業 ②「青谷ようこそ市場（通称：「あおいち」）事業」 あおいち年3～4回、あおいちギャラリー ③「青谷上寺地遺跡利活用推進事業」 とっとり弥生の王国 青谷かみじちフェスタ、青谷かみじちスタンプラリー、青谷かみじち史跡公園オープンによるまちのにぎわいづくりを進めるつどい		
市長段階査定額	2,850	【事業の実績】 令和4年度 1,969千円 令和5年度 2,485千円 令和6年度 2,850千円（見込）		
区分	本年度予算額	【事業の目的及び効果】 地域資源である因州和紙の魅力を発信する事業、青谷のまちなかに賑わいを取り戻す事業、青谷上寺地遺跡利活用推進事業を通して、地域の魅力づくりと情報発信により地域の活性化を図る。		
財源内訳		【事業の内容】 主催団体：青谷地域にぎわい創出実行委員会 ①「青谷因州和紙産地強化事業」 因州和紙市場開拓・情報発信事業、地域連携事業、伝統技術等の保存・継承事業 ②「青谷ようこそ市場（通称：「あおいち」）事業」 あおいち年3～4回、あおいちギャラリー ③「青谷上寺地遺跡利活用推進事業」 とっとり弥生の王国 青谷かみじちフェスタ、青谷かみじちスタンプラリー、青谷かみじち史跡公園オープンによるまちのにぎわいづくりを進めるつどい		
国・県支出金	0	【事業の実績】 令和4年度 1,969千円 令和5年度 2,485千円 令和6年度 2,850千円（見込）		
地方債	0	【事業の目的及び効果】 地域資源である因州和紙の魅力を発信する事業、青谷のまちなかに賑わいを取り戻す事業、青谷上寺地遺跡利活用推進事業を通して、地域の魅力づくりと情報発信により地域の活性化を図る。		
その他	1,678	【事業の内容】 主催団体：青谷地域にぎわい創出実行委員会 ①「青谷因州和紙産地強化事業」 因州和紙市場開拓・情報発信事業、地域連携事業、伝統技術等の保存・継承事業 ②「青谷ようこそ市場（通称：「あおいち」）事業」 あおいち年3～4回、あおいちギャラリー ③「青谷上寺地遺跡利活用推進事業」 とっとり弥生の王国 青谷かみじちフェスタ、青谷かみじちスタンプラリー、青谷かみじち史跡公園オープンによるまちのにぎわいづくりを進めるつどい		
一般財源	1,172	【事業の実績】 令和4年度 1,969千円 令和5年度 2,485千円 令和6年度 2,850千円（見込）		
計	2,850	【事業の目的及び効果】 地域資源である因州和紙の魅力を発信する事業、青谷のまちなかに賑わいを取り戻す事業、青谷上寺地遺跡利活用推進事業を通して、地域の魅力づくりと情報発信により地域の活性化を図る。		
備考欄	※その他財源の寄付金は、クラウドファンディング型ふるさと納税 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金			